

月曜是非

二つの対象

本年三月校門を巣立つと共に、職業戦線の小闘士として、雄々しくも社会の荒波に乗り出さうとする『就職希望児童』の爲めに、大童への活動中である平職業紹介所の発表として、巷間傳ふる處に依れば町場の少年と、農村の少年との間にその職業選擇の希望傾向に大きな懸隔があり、興味ある対象を見せて居る。

即ち商業地の少年が小資本の運用に依つて容易に獨立し得る商業家を望むに對し、農村側の少年は將來のサラリーマンを夢みて、官廳や銀行會社の給仕を志願するものが多いといふ。

前者が春秋に豊む前途の大望を捨て、實質的な、そして手ツ取り早き獨立の捷徑を辿る諦めの心境に到達する迄に、彼等小さな者の懊惱の如何に深刻なりしかを知ると共に、後者が鋤鎌を捨て、一圖に洋服を着親ふ雅氣満々たる憧れに、少年の夢をほく笑ましく思ふ。

而して前者がせよ、こまじき生活苦の世相を反映した處産として、餘りに現實的であるを悲しむ一方、後者の全然農村生活を離脱せんとする『願望』が、現在の農村疲弊の、證左の現れではあるまいか。少年の職業指導の上、種々考へざるを得ない。

榮冠遂ひに...

三浦君に歸す

きのう郡下卓球大會

既報平第三小學校卓球部主催平卓球協會及び大塚運動具店後援の第三回郡下卓球個人選手権大會は昨日午前十時より第三小學校A、B兩コートに於て開催、會長赤津千里氏の開會の辭に次いで川角審判長の試合に關する注意あつて直ちに試合に移り各方面より押し寄せた五十餘名の選手はいづれも鮮やかなバットの捌き振を見せ殊に準決勝戦にては昨年の覇者平營林署の信澤君に平稅務署の三浦君が敗れただけに果して今年も信澤君勝ち續けるかそれ共三浦君の雪辱なるか一般觀衆を熱狂せしめたが三浦君當り

Table with match results: 高澤0-3目黒, 加澤3-0内藤, 三浦3-0渡部, 保澤3-0佐藤, 準決勝: 黒3-0加澤, 三浦3-0信澤, 三浦4-3目黒

去年一年度中に

煙に十四萬圓

回数減つて損害増加 平署の火災統計

平署管内に於ける昨年度の火災統計を見ると放火を除いた火災数が十三回で廿七戸四十一棟、負傷者六名此の損害十三萬八千十三圓の巨額に達し居るが前年に比較すると火災回数は二回減じ損害は前年より二萬五千九百廿圓を増加して居る

信号宙破損 豊間村鹽屋

日限り閉會したが書道研究を呼ばれてゐる折柄觀覽者は合計千餘名に達し頗る盛會であつた

夏井川堤防

改修方陳情

小川村の夏井川堤防は最近腐朽甚だしく降雨毎に附近田地に出水して被害を見せ居るので本日草野村長外各區長は平土木監督所に出頭して改修方の陳情を行つた

警中新入生

入學考査

三月廿七日

警中に於ける新學年生徒募集入學考査は来る三月二十七日より三日間同校に於いて行はれるが募集定員は二百五十一名で試験は例年の如く常識問題を主とし口答筆答を併用すると

四倉共濟會

貧困者救濟協議 四倉町共濟事業助成會では本廿九日午前九時より町役場内に於いて貧困者救濟の打合せ會を開いた

平町會

來月二日開會 平町では來月二日午後一時から町會を招集し町有土地の賣渡の件其の他を附議する

平町人事

回出 荒川仙次郎氏

五女久子 先崎徳治郎氏 四男好男 回死 鎌田五二小林安五郎(五八)

平第二職員

研究録發行 平第二では過般來職員一同の研究録を出版すべく準備中の處此程漸く脱稿したので近く發刊する事になつたが各職員が思ひ／＼に研究しただけに立派なものが出來上るであらうと期待されてゐる

農家經濟座談

泉村 農會では本廿九日午後一時より村役場に於いて農家經濟の記帳方に就いて各實行組合員が參集座談會を催した

松本氏寄附

平窪村 字中平窪出身古河炭礦大阪支店長松本政勝氏は此の程病死せる母堂ノブ子刀自の遺志により同村小學校に教育費として二百圓を寄附した

羽子板と破魔弓を陳列致しました スガノヤ提灯店 平町四丁目 電話九五番

中村齒科醫院 平町鍛冶町七 魚清食堂部 電話六三三番 石炭 コークス 炭 玉炭 平 驛 前 阿部石炭商店 電話三七番 貨切の御用命の際には是非電話六四〇番尼子タクシーへ御願します。 尼子タクシー部 電話六四〇

今曉平會館焼く

二階の女給部屋から發火 損害見積三千圓

平町白銀町三八カフエー平會館事渡邊マサ(五)方の二階女給部屋より本廿九日午前三時半出火し火勢は忽ちにして階上の母屋料理場から店内に炎焼したが急を聞いて出動せる平消防組員の消火によつて同四時半同家一戸一棟を全焼して鎮火し

鎌田の喜一少年

列車中で賊

失職して歸郷の途中

白河署に捕はる

平町立町一八周次郎長男大峰喜一(八)假名は去る二十五日午前十時頃崎玉縣川口市幸町地三丁目熊澤戸車製作場を解雇され歸郷の途中同じく解雇された郡山市堂前真太郎次男大久保常吉(一六)假名と共に列車に乗せる栃木縣河内郡委川村宇西川農小川朝吉(七)氏より現金三十餘圓を窃取した事判明手配により白河驛に引き下されたが取調べの結果兩名は同夜六時頃川口驛出發宇都宮驛に差しかつた際前記小川が乗り込み西那須野驛に着いたら起して、須野驛に着いたら一枚差し、五十錢銀貨を一枚差し、だした瞬間ドッシと重い財

愛谷水利議員

平町外三ヶ村の愛谷堰堰普及水利組合では昨廿八日各町村役場で組合議員の改選を行ったが平町外飯野、夏井村等の當選者は左記の如である

(平)猪狩彌作、松崎長太郎、草野七五三之助(飯野村)仲田松之助、伊藤淺之助(夏井)鶴沼常藏

未済僅かに八件

平支部區の裁判好績

平區才判所及び支部に於ける昨年度の刑事取扱ひ件数は支部が十九件、區が通常九十一件、略式二百四十八件、合計三百五十八件であるが既済は支部十七件、區通常九十件、略式二百四十三件合計三百五十七件で未済は僅か八件と言ふ好成績を擧げてゐる

會計検査

左記日割に執行
平町に於ける縣關係各官衙學校等の會計検査は左記日割で行はれる
卅日中學校 卅一日女學校
二月一日平署 二日
商業取締所 三、四日
木監督所

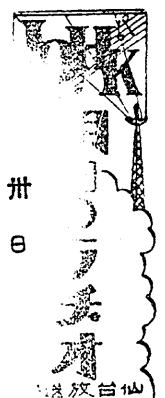
鎌田の小火

藁ボツチ焼く

神谷村向鎌田農平田八十次方附近にあつた藁ボツチ三百把が本廿九日午前五時頃發火したので附近の者が駆け付け消火に盡力し藁ボツチ

湯本無火災

湯本町は現在戸數三千百五十七戸一萬五千百廿一人



今宵の部
後六、〇 子供の時間
合唱「イ」かへれ空しく
老ひぬ「ロ」うつくしき
仙臺高工台合唱團 ピアノ
伴奏登坂美春指揮岡島勝
後六、二五 英語講座(五)
若杉二郎

地理研究教授 平第一小學校松本訓導は本日午前十一時より六學生に對し地理の研究教授を行ひ午後より職員 同にて之れが批評會を開いた

星野清吉氏長逝

葬儀はあす九品寺で

平町五丁目星野清吉氏は病氣加療中のところ昨日午前一時頃遂に永眠したが同氏は町會議員其他の名譽職にあつて町治に盡瘁した外平庶民金庫事務に就任以來同所の柱石として業務の刷新を圖り今後の活躍を斯待されてゐただけに此回の仆は一般より非常に惜まれるに因り葬儀は明三十日午後一時自宅出棺九品寺に於て佛式に依り執行すると

三人制卓球

三月四日開催

平卓球協會では來る三月四日第二小學校コートに於て第四回關東北三人制卓球大會を開催すると

鈴木應善氏 昨秋退
巢鴨商業へ 職以來
故山の聖林に塾居してゐた
元塾女教諭平窪村鈴木應善
氏は今般東京市巢鴨女子商
業學校教諭に任せられ去る
十五日、奉職した

望月春二
後五、〇〇 趣味講座「奥羽の鐸工及び金工に就いて」只野淳
後六、〇〇 子供の時間
合唱「獨唱」JOAK唱
歌隊 吉原規
後七、三〇 講演「漢語の日本品進出」岡井慎吾
後八、〇〇 長唄「養老」
後九、〇〇 小唄 菊地まさ
後九、四〇 ラヂオドラマ「續新家庭双六」澤村田之助 水谷八重子外大勢

小川匡救工事

割當方を陳情

小川村では昨年中匡救事業不正事件を起した結果割當事業を中止された爲同村農家では毎百廿廿名位が平窪村の匡救工事に出稼して居る有様なので九年度は是非匡救事業を割當られ度いと平十木監督所に陳情した

平職界紹介所報告

回人を求める方

△職工見習 十七才 尋卒
仕着小遣
△書生 二十才 高卒月五圓
△看護婦見習 二十前後
高卒月三四圓
△柏 二十前後 月十圓
△農夫 三十位 月十圓
△回職を求める方
△店員 二十七才 佑賢卒
給料面談

銘劍秘又録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

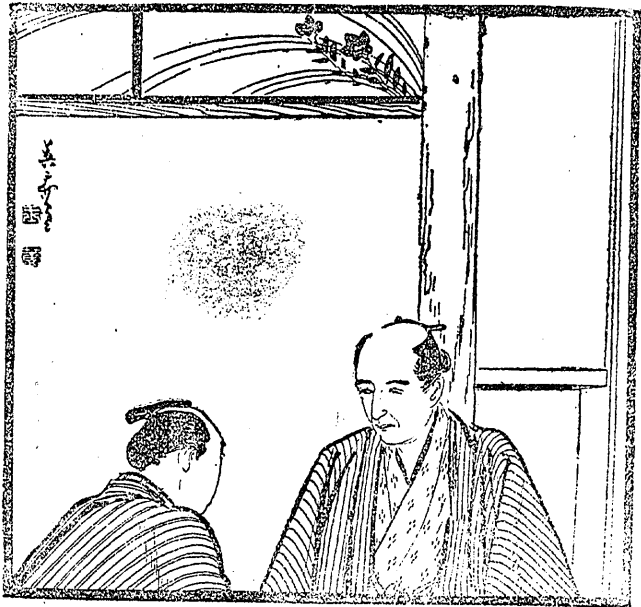
第四百四十四回 徳川家に崇る村正

お供の選り好み

鎌「此の間新藏さんの仰つしやるには、私はまだ江戸を見ない、江戸を一ツ見たいと思ふけれどもお父さんが許してくれなければ江戸見物は出来ない、その内女房でも持つて子供でも出来る、つい江戸も見ずじまつが情ない」と斯ふ言つて獨り言の様に話さなさいました、其處を一つ付け込んであなたが家の旦那へ好い鹽梅に話し込んで、もう十七にもおんななさるものから、今年か來年は御婚禮もあるのだ、そうならぬ内に江戸見物をなさせなさいと斯う言へば旦那は、いふ氣性だから、それぢやさうしようと新藏さんはいよゝ江戸へ行へことになると私の話相手は清六で、彼奴は仲々の辨者で殊に江戸へは度々行つて居りますから、吉原の案内でもして遊女場の勝手は詳しうござい

ます 私も江戸へ行けば二日五日女買をしないで歸つたことはございせん宿屋に居る内に宜い鹽梅に連れ出して、味をしめちやたまりません、一日や十日と居居連けをしゝる内に

金がなくなるのと此方へ言つてよこす、あなたが側にゐてサア百兩二百兩と金を送りなされる、御身代がこんなに大きいのでございませうから、千や二千は何でもございませぬ、歸つて來ると、サア江戸見物に行つて吉原



遊びをするやうな者は相續させる事は出来ない、御親類方相談の上、若旦那の方にそれだけの落度があるから、御親類どもとや角申されませぬ、新藏さんが癡

鎌「宜ろしうございませぬ宜し鹽梅に若旦那が癡痴いなして、金次郎さんが御和續

んか
そ「鎌七お前仲々えらい所へ氣が付いた、それぢやさうしよう、妾が言へば旦那は新藏に江戸見物をさせるに相違ない」
鎌「そこでお供は私に清六とでなければいけません、他の者を連れて行つて律義眞法に江戸見物をなすつてお歸りなすつたのは、何にもなりませんから」
そ「それは妾が宜い鹽梅に言ふから、そんなら鎌七頼む」

ないと後で面倒が起りますから……」
世の中に悪いのは悪巧みで、いいます、昔のことをわすれたおそのが機嫌の好い時に新兵衛に
鎌「新藏もモウ十七になつて居りますから、江戸見物でもさせておやんなすつたらどうでせう、女房でも持つて子供でも出來たら、さう言ふ事も出來ませぬまい」と宜い鹽梅に話し込むと新兵衛も、もとよりその氣が

「方が宜い、就いては何かえ、誰か連れて行くかい」
新藏「それはお父さんや阿母さんのお鑑識で誰を連れて行けと仰しやいますれば連れて参ります」
新「ぢやお供を二人許り連れて……」
新「有難う存じます、あの鎌七と清六の二人を除いて他の者なら誰でも宜しうございませぬから」
次の間で聞いてゐた鎌七と清六おそのも驚いた、此の場に至つて計畫餅と思つておそのはそれへ出て來て

新「お呼びなさいましたか……」
新「他ぢやないがお前も今年か來年は嫁を取つて私は隠居をする、お前が家督をついて跡を引受けることと、一寸外へも出る様なことも出來なくなる、今の内に一ツ江戸へ行つて見物をして來なさい、何も遊山するのではない、江戸の事も見たり聞いたりしおかないと、商業上大きに不益な事もあるから、いやでなければ江戸へ行つて來てはどうかだ」
新藏大きに喜んで
新「お父さん有難う存じます、實にその事は手前から願うかと存じました」
新「ウム」
新「私が江戸見物をしたくないなど、願ふのは悪からうと存じて……」
新「何、悪い事があるものか今の内に見る所を見て置

木村外科科
門專
院醫科外村木

自炊の院の便あり
平五町丁橋目際
電話三九〇

長唄
柳流舞踊

御稽古をおすめ致します
花柳流舞踊 研究所
花柳徳三郎 杵屋十茂代

組合員各位
平庶民金庫

本組合専務理事星野清吉殿病氣の處
二十八日午前一時永眠致候間此段御
通知申上候

昭和九年一月二十八日
有限責任平信用組合

父清吉儀病氣の處二十八日午前一時永眠致候間此段御通知申上候

追而葬儀は三十日午後二時自宅出棺九品寺に於て佛式にて相替可申候
昭和九年一月二十八日 平町五丁目二七

男 星野輝吉
親戚總代 飯野盛道
子爵 諸橋資長
友人總代 荒川久太郎
松陸會 青沼博
山崎與三郎
吉野健吉

舊正
初賣の景品御準備

本年は漆器の他に小雜貨類も取揃へ御便宜を計り極力奉仕勉強致します故是非本年も御愛顧御引立を御願ひ致します。

必ず格好な品がありますから御照會下さいませ。

各産産漆器
記念表彰品
恩賜賞品
進物贈答品
景品賞品類

平町三丁目北裏通り
共榮漆器店

外交員 至急募集
小店員